

業況レポート

情報連絡員報告

平成21年12月期

製造業

- ◇味噌…年末需要により若干の出荷増が見られたが、停滞基調が続いている。消費者価格の低下基調が続いており、業況への圧迫感が強い。
- ◇納豆…典型的なデフレスパイラルに入ってしまったと思えない。他力本願ではなく、自助努力によって生き残るしかない状況である。
- ◇菓子…前半の和洋菓子の売行きは伸び悩んだが、年の瀬の後半はクリスマスケーキ・餅等の売行きが若干伸びた。
- ◇パン…景気回復の見通しが難しいが何か工夫をして一歩でも前進をと考えている。
- ◇酒…11月の県内全体の課税移出数量は前年比95.9%と前年割れが拡大。純米酒は10月まで着実な伸びを示してきたが、11月は前年比95.3%とマイナスに転じた。
- ◇繊維製品…業界の状況は益々悪化。国内生産は特定の物を除き難しいのが現実。
- ◇繊維製品(袋物)…各社とも仕事量を確保でき売上もある程度維持できたようだが、まだまだ油断は出来ない。
- ◇木材…製品市況は軟調なまま推移した。先行きの不透明感で販売店は必要当用買いを徹底している。
- ◇プレカット…月初めは先が見えなかったが後半になって仕事が決まり出し前年同月比70%となった。
- ◇段ボール…前年よりは悪いが減少幅は改善した。取引会社の業績が前年並みになった企業も一部出てきたが、依然先の見えない状態が続いている。
- ◇印刷(総合)…11月の紙の国内出荷は前年同月比1.9%減、マイナス幅は縮小したが14ヶ月連続の前年割れが続いている(日本製紙連合会紙需給速報)。
- ◇陶磁器…不況の影響を強く感じる。
- ◇鍍金…売上高は前年比若干の増加となったが前々年比では依然2割程度の落ち込みで、景気動向は依然不透明。
- ◇重電…前倒しの仕事が若干増え2月頃より変動の見込み。
- ◇電化機器…生産高は前年比118百万円増(自動車関連が126百万円増)の701百万円となったが、18・19年比では約120百万円も落ち込んでいる。
- ◇自動車部品…受注高前年比97.6%、前月比95.6%。
- ◇工業団地(農機部品)…売上状況は前年比で1社増加6社減少。全体の売上高は前年比77%。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメント出荷状況は前年比約9%減。減少が続いておりさらなる減少も懸念される。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年比2.61%の減。11月に引き続き12/26・27の両日、水産物・青果を扱う仲卸と関連店舗が協力して「年末市場開放デー」を開催した。
- ◇県西地区卸売業…年末の需要増に期待したが前年比減

少の企業が多く、低迷状態が依然続いている。

- ◇県南地区共同店舗…近隣の超広域型大型店舗の影響により全業種で売上が低迷。通常月と変わらない消費量に思えるほど減少が続いている。
- ◇県北地区共同店舗…業種間で結果が明暗を分けた。問題点が一樣でないため、解決策を見出すのを困難としている。
- ◇家電…地デジアドバイス活動(戸別訪問)と年末需要により、売上高は前年比110%(薄型テレビ130%、冷蔵庫129%、エアコン107%)となった。
- ◇書籍…図書館等利用者が増加したのか、来店数は横這いも売上が上がらない。前年比マイナスが続いている。
- ◇石油…ガソリン販売価格は前年比7円値上りしているが、景気低迷による需要の減少や省エネ車等の普及により売上は伸びず、販売競争激化からマージンが圧縮されており、依然厳しい経営環境となっている。
- ◇中古自動車…12月も出品台数が少なく成約率も悪い。出品車台数増加策として記念オークションを増やしているが効果が表れていない。
- ◇自動車整備…県全体の検査台数(指定整備は除く)は、普通車6.7%減少、軽自動車1.7%増加、両車併せての全体の業務量は4.0%の減少。
- ◇総合建設…官公需に若干の動きはあるが、民間工事は低迷が続いており、各社厳しい年末を迎えている。
- ◇交通安全施設業…今後の経済対策に期待。
- ◇管工事…県内全域押しなべて好転の兆しはなく、低い水準のまま推移。
- ◇県北地区運輸…年末商戦もあり主要顧客の出荷物量は低いレベルながら前年と同水準で、燃料価格の高止まり分、収益を圧迫している。
- ◇県央地区軽貨物…輸送量が前年比で50%以上激減。

H21.12月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		▲ 66.7		▲ 50.0	
その他製造業		▲ 30.0		▲ 60.0	
卸売業		▲ 50.0		▲ 75.0	
小売業(商店街を含む)		▲ 54.5		▲ 81.8	
サービス業		0.0		▲ 50.0	
建設業		▲ 80.0		▲ 60.0	
運輸業		▲ 50.0		▲ 100.0	
全体		▲ 46.0		▲ 66.0	

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値